

糸 康晴の裏読み経済と未来予測！

＜月刊（重要）レポート第8号＞（平成14年8月26日）

8月1日のレポート以来、基本的な変化が無く推移しており、週刊レポートをお盆休暇として休ませて頂きます。その代わりといっは何ですがとっても重要なコンドラチェフ理論を後で紹介致します。長期的な視野、視点では右に出るものは無いと思っています。

今、私は外国からのレポートを読み漁って頭の中は単語だらけになっていますがここに来て外人勢も今までとは違う何かを感じ恐れている様に思えてなりません。

私はこれまで1990年頃に土地の暴落を予告し、毎年不動産会社の方にはまだ今の半値になりますよ！と言い続けて12年、自分でも実際に売却して成功だったと自賛していましたが、これから始まるであろう不況は これまでとは比べものにならない程、悪化しかねない最終最悪の5年になる可能性がかなり高いと皆様に報告させて頂きます。

まず先月のレポートの中で「今後、ニューヨーク株価3万ドルへの準備、」というコメント部分が解かり難いと思われまますので補足いたします。

この意味は今すぐ数ヶ月以内に起こるというものではありませんが米国は戦略の国！

1日たりとも米国が没落することを許しはしません。米国が悪くなればなるほど、綿密な計画をたてコンピューターでシュミレーションし回復への戦略を実行に移します。その意味で私なら計画を立て、静かに実行させるだろうと云う考えから3万ドルへの準備としてアメリカはゴールド中心のシステムを選択するであろうとの予言でありました。

（アメリカの歩む大不況への助走）

今後数年間かけてアメリカ経済は冬の時代に浸透し、最悪の時は世界恐慌へ発展しかねない中、ホワイトハウスでは11月の中間選挙を控え、劇的な戦略を計画しているに違いないありません。ここ1～2年以内に少しずつ計画を実行してくると考えます。その戦略の1つがゴールドを中心に金融を立て直す方法でないかと推測しています。後ほど詳しくお話致します。

（すでに世界デフレに突入か?!）

去年から皆様にアメリカもヨーロッパも早晚デフレに陥り、日本の二の前になるであろうと申し上げてまいりました。ただデフレが現実になら近づいてきた今、大不況（恐慌まで一気にゆかないことを希望しますが）に陥る可能性がかなり高くなってきました。

私は、アメリカがそうなる事をわかっていながら、阻止しないわけがないだろう！何か特別な手を打ってくるだろうと考え米国の戦略を予想した結果、その1つが戦争という

シナリオになりました。ところが一方でどんな手を打っても効き目が無い！？か少なくなるような環境になってきました。というのは、、、

米国が現在の財政赤字の中で戦争に突入すれば、財政破綻する可能性が高く、以前のように世界各国が戦争に協力できる体力を持っている国も少なくなってきた今、戦争が大幅に延期する可能性も出てきました。万一、それでも戦争を強行すれば、さらなる負債の上塗りが増え、米国の更なる悪化は避けられません。

一方で延期は良いのですがその間米国は極度の資金不足に陥り、NYダウが1日に1000ドル以上値下がるブラックマンデーのようなことがこれから起きる可能性があると考えています。

チェイニー副大統領の経営するハリーバートン社での疑惑（ブッシュ政権に入る前に彼はハリーバートン社のCEO＝最高幹部でしたが政権に入る為持っていた株を大量に売却し、その後暴落した為、疑惑をかけられました）で春ごろにスタートしたかった戦争が延期に成り、その後の財政が急速に悪化、ますます戦争を起こせなくなってきました。今はまず財政、金融体制を何とか立ち直らせる事を優先したいはずですが一朝一夕にはゆかないようです。ではその他どのような戦略が考えられるか？！私がアメリカだったらどうするか？！出て来た答えの1つが金本位制でした。

今の不況はバブル時に貸し付けた資金が不良債権化し、溜まりに貯まった挙句返済できない状況であり世界各国が赤字国債で補っている中、デフレが進み、この負債をいくら帳消ししても次から次へと不良債権が増えてきています。新しい経済を構築する為にはこの不良債権を帳消しにしないと新しい経済＝春を迎えることが出来ません。

その帳消し方法が今、世界各国が大なり小なりもっている金（ゴールド）を使う方法と考えました。簡単に話せばゴールドの価格を今の数十倍＝不良債権額と同等以上に高く設定すれば形の上では不良債権が帳消しになる訳です。

例でご説明しますと、今アメリカは推定8400トンの金を保有しており現在の金の価格だと約9兆6千億円程度しかありませんが、もし金価格を今の約25倍以上、1g＝約3万円以上にすれば少なくとも約250兆円以上の貯え＝貯金があることとなり1987年から溜まりにたまった米国対外純債務（借金）2兆3091億ドル＝約277兆円は1日でほぼ借金の帳消し状態に出来る訳です。また世界中の金保有国も天から無利息、無返済の融資を受けた事になり以後少なくとも20年間はこのシステムで世界は緩やかなインフレ、経済の春を迎えられ、米国の世界戦略も軌道に乗ると考えます。

金本位制という制度にもっていかなくても価格が上昇すれば可能なわけですが時間がかかり過ぎということとドル紙幣への不信感が払拭されないために兌換システム（紙幣と金との交換）が必要ではないかと思えます。

また1999年、株式のピーク時にはエクイティー＝金融派生商品、株や債券の時価総額は約38兆ドル＝約4500兆円でありましたが、金関連株の時価総額は380億ドル＝約4兆5千億円、世界の金の総量は多くても2.5兆ドル＝300兆円、世界の銀行が持っている金のトータルでさえ5000億ドル＝60兆円しかありません。

また1929年当時の金価格に対する株価が1対1（1分の1）であるとする、今のそれは1対40（40分の1）から多少ダウンしてもまだ1対30（30分の1）という低い比率になり、いかに金価格が低く押さえられているかが解かります。

金の生産量は年2500トンに対して需要は約4000トン、毎年1500トンが不足しておりこれまで金の貯金で補っていますがこれから中国（13億人）やインド（10億人）の金の好きな人たちが年一人当たり1g購入するだけで新たに2300トンの需要が出てくるとも考えられます。皆さんお使いの携帯電話にも平均0.2gの金が使われており、これから世界の半導体市場が金を大量に使用する事も考えられます。

（Commodity=商品への資本逃避）

ゴールドを中心としたシステムへ移行する前に、資本が米国から逃避を始めたようです。サウジアラビアは今年になり約2000億ドル（約24兆円）もの資金を米国から引き上げた模様で、アラブ世界の戦争予測から米国が資金の凍結を予想、その前に資金を避難させようとしたのではと考えられています。

恐らくサウジだけでなく世界各国が米国への投資資金の引き上げをはじめ株価は下落！

米国株の下落による損失を補う為に、世界へ投資していた株を一時売却、米国へ資金を引き上げ穴埋めを行ったものと思われます。行き場を無くした資金がこれからどこへ行けば自己増殖させてくれるかを模索しているところです。

これまで株や債券という紙切れに託し投資、デリバティブとドル紙幣の増刷の手法で自己増殖させてきたシステムがここにきて限界点を超え、資本がこれ以上株や債券にとどまる事に恐怖を抱き、拒否いたしました。これから資本は確かな実物商品（Commodity）に入り込んでゆくと考えます。

日本がそうであった様に米国もバブルで高くなった消費物価が不況経済のあおりから価格の下落に拍車がかかりデフレスパイラルへ、まさに経済の冬を迎えることとなります。

すなわち世界の問題点は不良債権であり過去45年間に積もった借金、もっと簡単に言いますと銀行が融資し資金が焦げ付きだし不良債権化と変貌した訳です。この不良債権が帳消しに出来て始めて第二ステージがスタートすると考えます。

日本でさえこの12年間、苦しみデフレを経験して、本来なら日本国が倒産している程の不良債権を処理してきましたが未だに処理しきれていません。まだ100兆円を残していますが新たな不良債券が出てくる事も確かです。

これから米国の大不況が日本を襲い、世界大不況の嵐に見舞われることでしょう。

もしできることなら皆さんの資産保全として、土地は直ちに売却し現金に換えておくこと。このまま米国が何も出来ずに来年を迎えると、一時的に商品価格が上がり、物価が上昇し、株価が多少上がり、良くなったような錯覚にとらわれます。

とんでもない錯覚でここから地獄の1丁目へ叩き落されることでしょう。土地価格は良くて今の半値！株も半値！ボーナスは無くなり、お給料も値下げ！商売も株も債券も良いものは何一つありません。ではどのようにして資産の保全をすれば良いのでしょうか？！

(大不況時の資産保全)

何度も申しますが土地も株もまだまだ値下がり、良くて今の半値まで値下がる事でしょう。もしうまく現金の準備が出来たラッキーな方は 今後40年間に大資産家となる方法を歴史に学びましょう！（最後にコンドラチェフの景気循環説をご説明致します）

1つ目は 投資するならこれから商品価格（Commodity）が上昇した時、一時的に金価格が値上がりすると考えられますのでその時すかさず、金鉱山株を購入するか、金を購入してください。わからない方は今の価格でも構いませんから金鉱山株、銘柄は大手、中小混ぜてお買い上げください。小さい鉱区を持っている中小金会社はリターンも大きく、将来的に金の不足時には合併吸収も考えられますから面白いと思います。

(推薦、外国金鉱山株一覧)

会社名	ティッカー	12/31,01	現在の株価	希望買付額
AgnicoEagle Mines Ltd.	AEM	\$9.89	\$12.70	\$9.0~\$11.0
Durban Deep	DROOY	\$1.38	\$3.02	\$2.2~\$2.5
Gold Fields Ltd.	GFI	\$12.37	\$10.20	\$7.8~\$10.2
Royal Gold	RGLD	\$5.19	\$12.57	\$9.0~\$11.0
High river Gold	HRG.to	\$0.34	\$1.55	\$0.8~\$1.5
Goldcorp	GG	\$6.13	\$8.85	\$6.5~\$8.0

Newmont Mining	NEM	\$19.23	\$25.14	\$19~\$21
Hermoney	HGMCY	\$6.10	\$12.37	\$9.5~\$11.0
Kinross Gold	K/TO	\$1.10	\$2.55	\$1.8~\$2.2

その他20~30社ほどございますのでご要望の方は申し出下さい。

なお希望買い付け額はそれ以下になる事もあると思いますので皆様でご検討ください。

2つ目に土地！バブル時に10億で建てられた収益物件が今1~2億で売りに出ていますが、その物件がこれから数千万に再度値下がり手に入る時代がやってきますのでじっくり物色し購入してください。（こう云う物件だとリターンが1ヶ月数百万あると思いますので）あくまで焦らず、安く購入後はお金を多少多めに賭け、大改装してください。そして賃貸！周りの賃貸価格がまだ下落気味に成っても対応できると思いますので粘って購入ください。（賃貸価格も値下がりを予想しますので2005~6年までかけても遅くないかもわかりませんか？！その時々報告致します）

（ゴールドのまとめ）

金鉱山株の第1ステージは約4倍で終わりました。私ももう少し続くと思っていましたが意外と早く終わり、これから第二ステージへ向かいます。今回は3~5年かけて10倍以上のリターンが来るものと考えていますがあまり欲を出さずに売却の方が良いかもわかりませんか？！とにかくこれから商品へ資本が入り、その後下落！そして本格的ゴールドの上昇へ向かうと推測しています。

（株はどうなるか?!）

おそらくこのまま推移すれば米国株は今の半値、ダウが5000前後までは落ち込んだ後3000台へ進む事でしょう。日経平均も7000円台まで落ち込んだ後5000円台へ数年かけて向かうと頭の隅にでも置いておいてください。ただしピンチはチャンス！株が暴落すれば金鉱山株は高騰しますから！

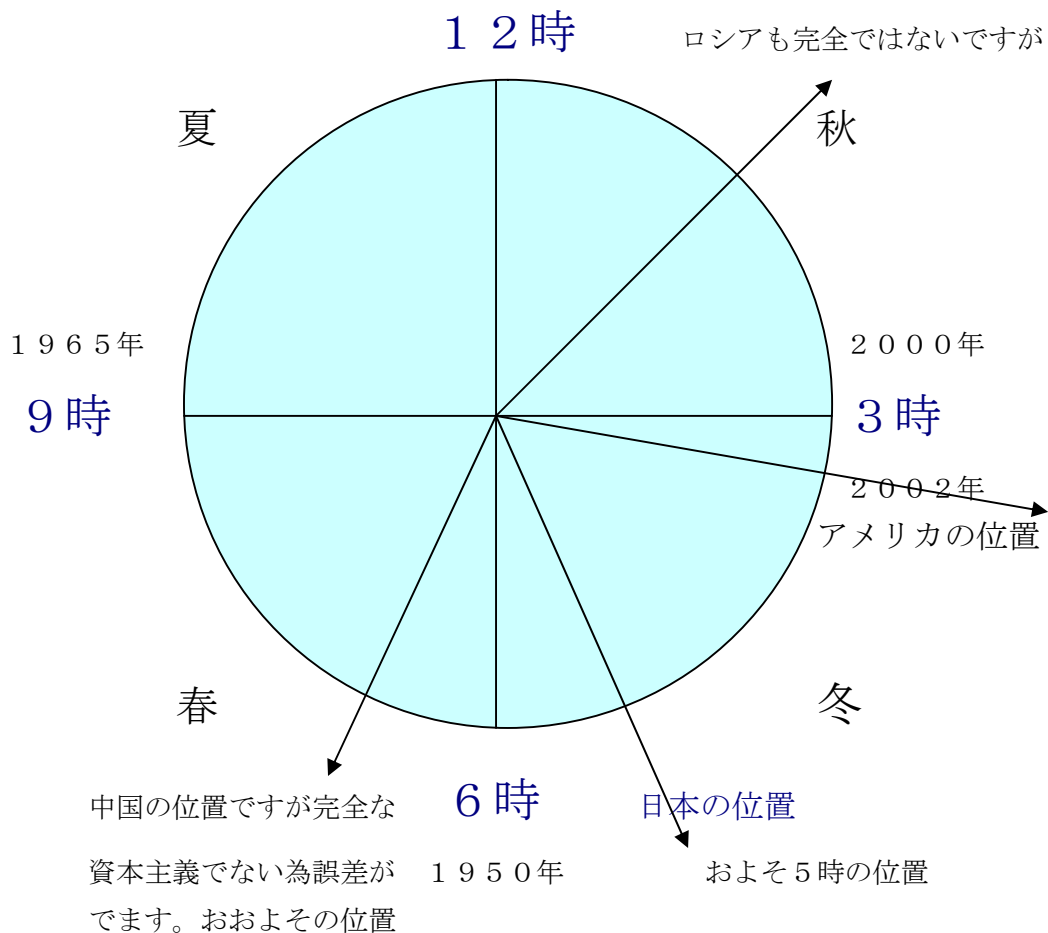
（1点だけ注意事項として）

米国の不況は最長15年以上続くかもわかりませんが、金本位制が出されるとその時点で米国の不況が終わる可能性が高いとみてください。不況へのカンフル剤注射をしたことになり、急速に状況が変化してくると思います！アメリカは劇的なことが好きな民族、ある日突然世界のシステムを変え、時代のリセットを仕掛け、アメリカ国民を守ることでしょう！やはり凄い国ですね？！

最後に私の基本的概念になっている経済理論のご紹介を致します。それはロシアの学者コンドラチェフ教授の理論でこれまでラビバトラ他世界中の知識人に影響を与えました。

コンドラチェフの景気循環説)

1980年



彼は20世紀初頭のロシアの学者でありましたが資本主義時代＝米国の分析を行い、ある結論に達しました。景気の循環が4つの季節＝変化で起こり、それぞれが15年＋－（プラスマイナス）6年、トータルで約50～60年の特徴を見出せました。まるで人の一生の如く、明確な特徴と周期性がありました。

1) 冬の時代は デフレーション（物価下落）が起こります。現在の位置！

春から秋にかけて積もった不良債権が冬の時代に返済可能となり、倒産や不良債権の帳消しが行われます。この時代は現金と金が値打ちをもち、株や債券、土地や預金は下落し、キャッシュが最も魅力的な商品となります。物価は下落し続ける中、今回は一時的な上昇をみせるのではと考えますがいずれは再下落、もう誰も土地、株を買わなくなったとき、初めて冬の時代は終わりを告げることになります。

2) 春の時代は インフレの始まりを感じさせますが一番の投資先は株式投資それから不動産、土地の緩やかな回復になります。

冬に傷だらけとなったマーケットは徐々に元気を取り戻しながら、新たな産業やビジネスが芽を出し、土地の回復を少しづつ感じさせながら株式は先行上昇します。株式の上昇はこの春と秋が一番上昇する季節で今の中国も春の季節にいる国です。

3) 夏の時代はインフレが進行し、土地、商品、金などが上昇します。

春に新たな産業が芽を出し、夏の季節ではほぼ充実したところに達します。

商品や土地は上昇し、ほぼすべての産業で充実した結果が得られる時期ですが株式は上下を繰り返し、妙味が少ない季節です。銀行は会社に対して融資を増やし、不良債権化が始まりを感じさせます。

4) 秋の季節は春と夏、そして秋に融資した資金が所々不良債権化しピークに達するインフレ終焉の季節です。

秋には強力な株式ブームが起き最高値を付けるのがこの季節。日本では38、915円をつけた1989年がピークになります。債券が高くなり、商品価格が徐々に下落を始め、土地や不動産が最後の安全な砦と勘違いし、最後のブームがやってきます。ここで買ったが百年目、これからやって来る冬の時代に皆さんご存知の不良債権化を起こします。

そして又冬が訪れ、春、夏、秋に貸し付けた資金が不良債権化し、全ての企業、銀行や国までもが不良債権に苦しめられ、同じ過ちを繰り返し循環する訳です。

もう一度繰り返し申しますがこの冬の時代、土地や物価、株式や商品に至るまで全てのものが下落を続け、大量失業者と倒産が起きるのもこの季節の特徴となります。ただ一つ、金＝ゴールドを除いては！

私が2年前から金鉱山株を推薦していた理由がこれです。1929年当時も株式の暴落が起きたときも、ニューヨークの株は5年で90%を失いましたが金鉱山ホームステークマイニング社の株は5年で10倍になりました。(すでに幾度もレポートしましたが、、、)

この1年で推薦金鉱山株は平均3～4倍になっていると思いますが金価格がここに来て値下がりを始めましたので今若干値下がりしています。

ピークからおよそ20～30%程度値下がりをしてはいますが、まだ値下がる可能性があり、底を拾っていただきたいのです。

もうお分かりいただけたかと思いますが今のアメリカは住宅が好調な売れ行きで推移していますが早晩不良債権化し、職や家を失う人々が続出する事にな

り、日本同様デフレスパイラルから脱出できない状態になります。

これから日本は、冬の時代の最後の悲惨な数年が待ち受けています。

とてつもない大不況になる可能性があります。

土地は今の半値になり株も半値、上場会社はまだまだ潰れ、失業者も10%に近くなります。私もそうならないように手を打って欲しいのですが、今はその方向へ突進している事を把握してください。

そこでこれから金の第二ステージが起こるわけです。

これから世界不況となり世界中の投資家が金や金鉱山株に投資してきます。その結果、私は4~5年で数倍と控えめに申し上げたいと思います。

(まとめ)

思ったより米国の不況が深刻でこれから5年間は世界が冬の時代になる可能性が高くなりました。最後の不況をアメリカが阻止できるかどうかは戦略如何で決まりますが、金やエネルギー、穀物を含めた環境本位制または金本位制が米国から発表があったとき、世界はその後40年間は無難な緩やかなインフレで時代を押し進める事ができます。

いずれにしても金価格=金鉱山株は高騰するはず！で最も安全な資産保全の有力な1つになると考えます！

今日お話しました説はいつ、株投資が良いか！いつ、してはいけないのか！いつ、土地を買えば良いかなどを明確に指導してくれています。

約60年サイクルの景気循環の中で約45年間は商売=仕事が最も無難な儲け話であります。冬は15年は何もかもが崩れる時代なのです。ラッキーな方は春と秋にだけ株式投資を行い、もっとラッキーな方は冬の最後に土地を購入する事なのです。

このことを知っていれば、自分の人生の中で無駄な時間と労力を大幅に省いてくれる教科書となり、最短距離で勝ち組みへ導いてくれると信じております。

私がもう少し早くこのシステムを知っていたなら、かなり違った方向にいたかも解かりません。今からでも遅くは無く、皆様のご参考になれば幸いです。

編集； 桑 康 晴

(今回も文章チェックをする時間がなく、送らせて頂きました。誤字脱字は無論、変な言いまわし箇所も多々あると思いますがお許しください。なお今月は日米ともボックス内の取引で変化が無く、盆休も重なって月2回程の週刊？レポートを休ませて頂きました)